

目次

第 1 章 ご使用になる前に

ご覧いただくうえでのお願い	3
1-1. 製品の内容	3
プリンタドライバディスクの内容	3
1-2. 動作する環境	4
動作可能 Macintosh	4
動作可能環境	4
その他	4
1-3. 重要な注意とお願い	5
使用許諾	5
ケーブルの取り扱いについて	5
補足説明について：必ず最初にご覧ください	5
機能拡張 / コントロールパネル書類との併用について	5
ユーザ登録	5

第 2 章 セットアップ

2-1. インターフェイスケーブルの接続	6
接続の手順	6
2-2. ソフトウェアのインストール	7
インストールの手順	7
インストール項目について	8
「SerialDMA」書類について	9
2-2. 機器の設定	10
Macintosh への接続について	10
BJC-440J の設定について	12
電源の投入	12
2-3. プリンタドライバの選択	13
選択の手順	13

第 3 章 印刷の設定

3-1. 用紙の設定	15
用紙設定の手順	15
設定項目	15
ユーザー定義用紙の登録	18
3-2. 印刷条件の設定	19
印刷の手順	19
設定項目	19
3-3. 詳細設定	24
設定項目	24
設定の保存と初期化	26
『オプション』ボタン	27



3-4.	バックグラウンド印刷について	28
	バックグラウンド印刷の手順	28
	バックグラウンドアプリケーション QuickServer の役割	28
	バックグラウンド印刷の設定	28
	QuickServer の機能	29

第 4 章 ネットワークでのプリンタ共有

4-1.	サーバー機とクライアント機について	31
4-2.	機器の接続	32
	サーバー機とプリンタの接続	32
	クライアント機とサーバー機の接続	32
4-3.	セットアップ	33
	QuickServer のインストール	33
	プリンタ共有の手順	34
4-4.	プリントデータの転送	35
	転送の手順	35

第 6 章 トラブルが発生したら

セレクトでプリンタドライバが選択できない	37
印刷結果が不良	37
プリンタが印刷しない	38
バックグラウンド印刷ができない	38
プリンタ共有で QuickServer が見つからない	39
印刷速度が遅い	39

第1章 ご使用になる前に

この度はPixeColor440Jをご利用いただきまして、誠にありがとうございます。

本製品は、キヤノン社のBJC-440JをMacintoshで活用するためのQuickDraw対応のプリンタドライバソフトウェアです。本プリンタドライバソフトウェアをご使用になるには、BJC-440J専用のインターフェイスケーブルPixeCable H2 で接続されている必要があります。

ご覧いただくうえでのお願い

本書中で使用している画面の内容は、ご使用の環境などにより必ずしも一致しない場合があります。

Macintoshの基本的な操作や、プリンタのセットアップについては特に解説しておりません。それぞれのマニュアルなどをご覧ください。

1-1. 製品の内容

プリンタドライバディスクの内容

PixeColor440J インストーラ

Macintoshにプリンタドライバや関連ソフトウェアをインストールするためのインストール書類です。ダブルクリックで起動し、必要なインストールを実行できます。

インストールされる書類

QuickDraw プリンタドライバ : PixeColor440J (機能拡張書類)

プリンタ共有とバックグラウンド印刷 : QuickServer440J

(バックグラウンドアプリケーション)

カラー処理コンポーネント : PX Module (機能拡張書類)

1-2. 動作する環境

動作可能 Macintosh

68030以上を搭載したMacintoshもしくはPowerPC搭載したMacintosh

Macintosh ColorClassic、ColorClassicII

Macintosh LCシリーズ、Macintosh IIシリーズ、Macintosh Quadraシリーズ

Macintosh Centrisシリーズ、Macintosh PowerBook Duoシリーズ、

Macintosh PowerBookシリーズ(PowerBook100は除く)

Macintosh Performaシリーズ、PowerMacintoshシリーズ

PowerBook Duoシリーズに関しまして、DuoDoc / MiniDocなどをご使用になられての出力の際に、正常に印刷できない場合があります。(1998年3月末現在)

動作可能環境

OS	漢字Talk7.5.1以上 MacintoshのQuickDraw出力に対応しています。
内蔵メモリ	24MB以上必要 印刷する内容によってはより多くのメモリが必要になります。
ハードディスク	インストールには1MB程度必要です。起動ディスクに、印刷時の作業用として50MB以上の空きエリアが必要です。また印刷する内容によって適当な空きエリアを確保する必要があります

その他

- ・ネットワーク環境はパワーマックではOpenTransport J-1.1.2以降のものマッキントッシュではAppleTalkのバージョンが58.1.5以降で、EtherTalkバージョンが2.5.7以降に対応します。
- ・68KCPU搭載のマッキントッシュでのOpenTransportの使用はサポートしません。
- ・仮想メモリやRamDoublerなどはサポートしません。
- ・QuickDrawドライバであるためQuickDraw GXでの印刷には対応しません。
- ・アップル社のデスクトッププリンタ機能拡張には対応しません。
- ・ハードウェアアクセラレータやSpeedDoublerなどはサポートしません。
- ・用紙設定ダイアログや印刷設定ダイアログを表示せずに印刷を行なうアプリケーションには対応しません。
- ・文書のページ毎に用紙方向を変えるアプリケーションには対応しません。

1-3 重要な注意とお願い

ご使用に際しましては、以下の点にご注意いただきますようお願い致します。

使用許諾

本製品の全ての権利は株式会社ピクセラに帰属いたします。バックアップを目的とする場合を除きそれ以外の用途には、本製品の1部もしくは全部を複製したり第3者に譲渡することは禁じられています。

ケーブルの取り扱いについて

Macintoshと接続するための専用シリアル/パラレル変換インターフェースケーブルPixeCable H2は、精密な電子部品で構成されています。乱暴に扱ったり、コネクタ部分に衝撃を与えたりしますと故障の原因となります。また液体などで濡らさないようにご注意ください。

補足説明について：必ず最初にご覧ください

取扱説明書で記載できなかった事柄、補足事項などがある場合は、プリンタドライバフォルダまたはディスク内に「始めにお読みください」というファイルがあります。このファイルがある場合は必ず最初にご覧ください。Macintoshのシステムに付属の「TeachText」や「SimpleText」で開いてご覧いただけます。

機能拡張 / コントロールパネル書類との併用について

専用プリンタドライバは、Macintoshのガイドラインに準拠したセレクトレベルのプリンタドライバです。動作確認については、Macintoshの標準のシステム構成でおこなっております。他の機能拡張やコントロールパネル書類がインストールされている場合、動作保証を致しかねます。これは、他の機能拡張やコントロールパネル書類との併用を禁止するものではありませんが、障害が発生した場合はこれらの書類を一時的に未使用にして印刷の状態を確認して下さい。

ユーザ登録

ユーザに対するサポートは登録ユーザに対してのみ行います。サポートを希望される方はPixeCable H2のユーザ登録はがきに、必要事項を記入の上、速やかにご返送下さい。

尚、PixeCable H2のユーザー登録はがき控えにシリアル番号が記載されています。ユーザーサポート、バージョンアップサービス等の際にシリアル番号が必要になりますので、大切に保管してください。

第2章 セットアップ

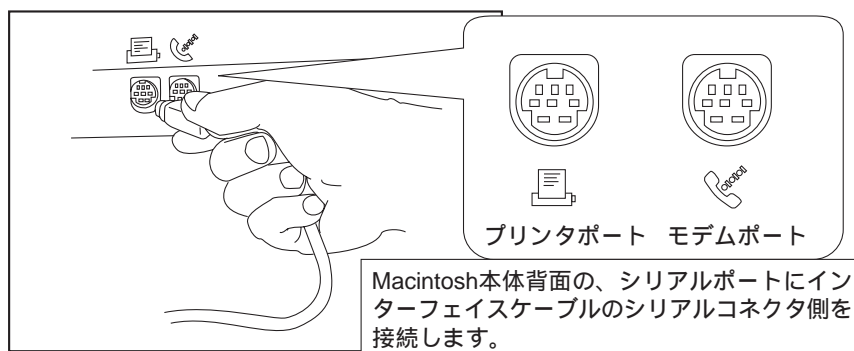
2-1. インターフェ이스ケーブルの接続

Macintoshとご使用のBJC-440Jを専用のインターフェースケーブルPixeCable H2で接続します。

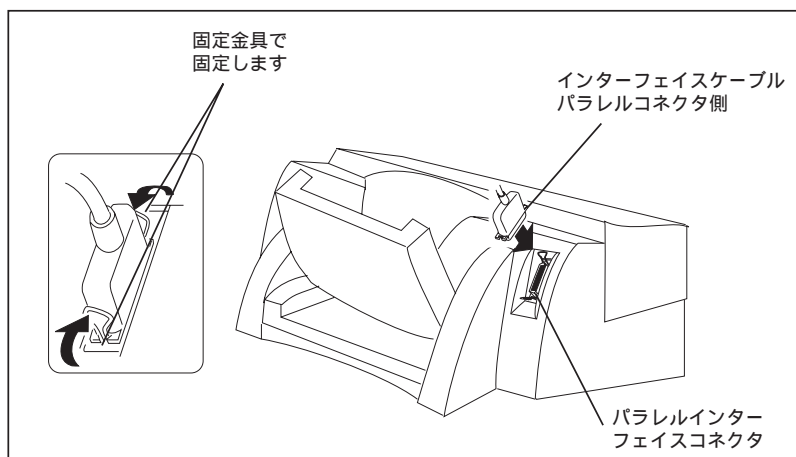
接続の手順

Macintoshのシリアルポートと、BJC-440Jの平行ポートを接続します。

- 1 Macintosh と BJC-440J の電源をオフにします。
- 2 Macintoshのシリアルポートにインターフェースケーブルのシリアルコネクタ側を接続します。



- 3 BJC-440Jの平行ポートにインターフェースケーブルの平行コネクタ側を接続します。



2-2. ソフトウェアのインストール

プリンタドライバ、バックグラウンドプリント用アプリケーションQuickServerをMacintoshにインストールします。

インストールの手順

- 1 Macintosh を起動し、CD-ROM をセットします。ます。
Macintosh が起動するとデスクトップ画面が表示されます。WonderBJ プリンタドライバCD-ROM ディスクを CD-ROM ドライブにセットします。
- 2 使用しているプリンタドライバフォルダを開きます。
CD-ROM ディスク内の「Macintosh 用プリンタドライバ」フォルダを開き使ウィンドウ内の目的のプリンタドライバフォルダを開きます。
ウィンドウ内に「PixeColor インストーラ」アイコンがあります。



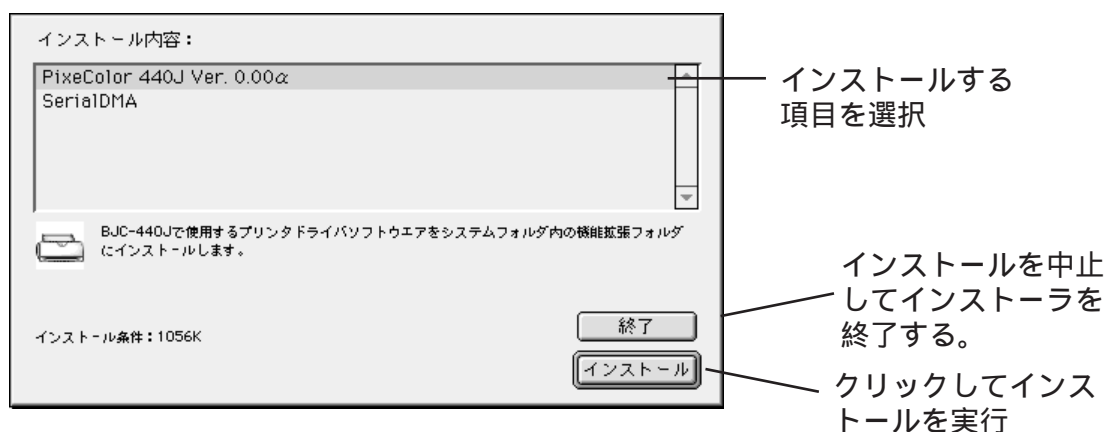
- 3 インストーラを起動します。
インストーラのタイトル画面が表示されます。タイトル画面に表示される説明をご覧になり『続ける ...』ボタンをクリックします。
- 4 インストールしたい項目をチェックします。
- 5 インストール先のドライブを指定します。
インストール先ディスクに現在選択されているドライブのアイコンが表示されています。インストール先のドライブは、Macintosh の起動ディスクを選択します。起動ディスクのアイコンが表示されていない場合は、『ドライブ』ボタンをクリックして切り替えます。

デスクトップ画面の右上にあるアイコンが起動ディスクのアイコンです。通常、「Macintosh HD」という名前が付けられています。

6 『インストール』ボタンをクリックします。

選択した項目の必要なファイルが起動ディスクの適当な場所に自動的にインストールされます。

PixeColor440Jのインストーラ画面



7 インストール完了後、『終了』ボタンをクリックしてインストーラを終了します。

他の項目をインストールしたい場合は、『続ける』ボタンをクリックしてステップ4～6を実行します。

以上の操作でインストールは完了です。

インストーラのウィンドウで「カスタム削除」をポップアップメニューから選択すると、選択した項目の削除を行うことができます。

インストール項目について

インストールされる書類について説明します。

PixeColor440J プリンタドライバ
ご使用のBJC-440Jのプリンタドライバです。起動ディスクのシステムフォルダ内の機能拡張フォルダにインストールします。

バックグラウンドアプリケーション
バックグラウンドプリントに必要なアプリケーションです。バックグラウンドプリントを使用したい場合に選択します。起動ディスク内に「QuickServer440J」というフォルダを作成し、そのフォルダ内にインストールします。
使用するプリンタに対応したプリンタドライバと併せて選択します。

QuickServer プリントサーバ

ネットワークでBJC-440Jを共有する際に、サーバ機として使用するMacintoshにインストールします。

サーバ機でも個別に印刷操作を行う場合は、PixeColor440Jも合わせて選択します。この項目を選択した場合は、バックグラウンドアプリケーションの項目は選択しないでください。

ご使用のMacintoshをクライアント機として使用する場合はQuickServer440Jプリントサーバはインストールする必要はありません。

サーバ機とは、ネットワーク上のプリンタを接続するMacintoshのことです。ネットワーク上のプリンタを接続しないMacintoshは、クライアント機となり、サーバ機で起動しているQuickServerに印刷データを転送することでプリンタの共有を行います。ネットワークでの使用については、「第4章ネットワークでのプリンタ共有」を参照ください。

「始めにお読みください」ファイル

本取り扱い説明書に記載できなかった事柄や、補足事項、変更点などが記載されています。必ず最初にご覧ください。Macintoshのシステムに付属の「TeachText」や「SimpleText」で開いてご覧いただけます。

「SerialDMA」書類について

インストール画面を起動させると、インストール内容の項目に「SerialDMA」という名称の機能拡張書類があります。この書類は、PowerMacintoshのシリアルポートでの出力を高速にするための書類です。

漢字Talk7.5.3以降のシステムで動作しているPowerMacintoshでは、この機能拡張は必要ありませんのでインストールする必要はありません。



SerialDMAアイコン

2-2. 機器の設定

Macintosh への接続について

Macintoshのシリアルポートは通常の場合、プリンタ、モデムのいずれかにインターフェイスケーブルを接続してご利用になれます。ただ、ご使用の機種、環境によっては使用できないポートがあります。いずれかのポートが使用できない環境として下記の場合があります。

LocalTalkを使用している場合(オープントランスポート未使用時)

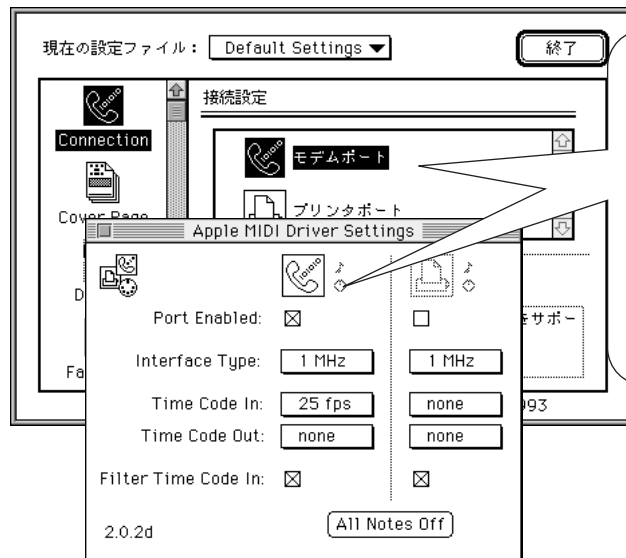
LocalTalkネットワークを使用している場合は、プリンタポートに接続することはできません。この場合は、**モデムポートに接続**してください。



接続しているネットワークがEtherTalkなどのプリンタポートを使用しないネットワークの場合は、プリンタポートを選択できます。

シリアルポートを占有するソフトウェアを使用している場合

通信モデムやMIDIインターフェイスなどのシリアルポートに接続する機器を使用している場合、実際にその機器が接続されていなくても、インターフェイスケーブルを接続して正常に印刷が実行できない場合があります。これは、機器を動作させるプログラム(多くの場合、機能拡張やコントロールパネルの書類)がMacintoshの起動時に有効になっていて、シリアルポートが開放されていないためにおきる不都合です。この場合は、そのプログラムの動作を無効にするか、そのプログラムが使用していないシリアルポートにインターフェイスケーブルを接続してください。



モデムポートを使用するように設定されている例
 このような場合は、インターフェースケーブルをモデムポートに接続して印刷を実行すると、正常に印刷されません。設定を変更するかプログラム自体を無効にします。または、インターフェースケーブルをプリンタポートに接続します。

通信モデムやMIDI関連プログラムのポート設定例

シリアルポートが1個のMacintoshを使用している場合

PowerBook DuoシリーズなどのExpressModemを内蔵した機種や、プリンタポートとモデムポートを1個で共有するタイプの機種では、正常に印刷できない場合があります。このような場合は、Macintoshで次の設定を行なう必要があります。

1 AppleTalk を「使用しない」に設定します。

アップルメニューから〔セクタ〕を選択し [AppleTalk] の「不使用」のラジオボタンをクリックします。メッセージが表示されますが「OK」をクリックします。

2 コントロールパネルの書類を設定する。

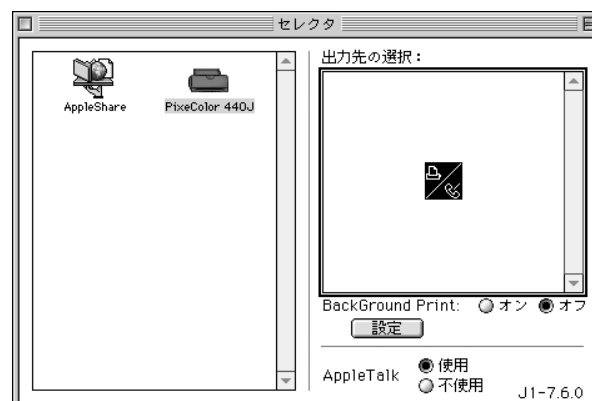
アップルメニューからコントロールパネルを選択し、該当書類を下記のように設定します。

[PowerBook] 書類で〔内蔵モデム〕を〔外部モデム〕に設定します。

[PowerBook セットアップ] 書類で〔コンパチブル〕を〔標準〕に設定します。

[ExpressModem] 書類で、〔入〕を〔切〕に設定します。また、ここでモデムの設定があれば、〔内蔵モデム〕を〔外部モデム〕に設定します。

ご使用の機種によっては、上記の設定のうち、いくつかは見あたらない場合があります。その場合は、設定の必要はありません。





3 セレクタで出力ポートを〔モデムポート〕に設定します。

プリンタドライバをセレクタで選択する際に、出力ポートをモデムポートに指定します。モデムとプリンタ共通のアイコンが表示される場合はそれをクリックします。

設定方法は、ご使用の機種、システムのバージョンにより異なる場合があります。基本的には、PixeCable H2を接続したシリアルポートが他の機器やソフトウェアで占有されていないことが必須となります。ご使用のMacintoshや周辺機器、ソフトウェアのマニュアルをご覧ください。また、「始めにお読みください」書類に最新の情報を記述してありますので参照ください。

BJC-440J の設定について

BJC-440Jの動作モードは、BJモードに設定してください。

購入時の状態で使用できますが、正常に動作しない場合は動作モードがBJモードになっているか確認ください。

プリンタの設定状態は、プリンタの操作パネルを操作して変更します。操作については、BJC-440Jの操作ガイドをご覧ください。

電源の投入

ケーブルの接続後、機器の電源を投入する順序は、下記のとおり行ってください。

- 1 プリンタとMacintoshの電源が入っていない状態で、まずMacintoshの電源を投入します。
- 2 Macintoshが完全に起動した後、プリンタの電源を投入します。
Macintoshの起動処理が完了するには数分かかる場合があります。必ず完全に起動し終わってからプリンタの電源を投入してください。

「シリアルプロトコルエラー」「プリンタとの通信ができません」等のアラートが表示されて印刷できない場合は、プリンタの電源を印刷直前に投入しオンライン状態になることを確認してから印刷を実行してみてください。

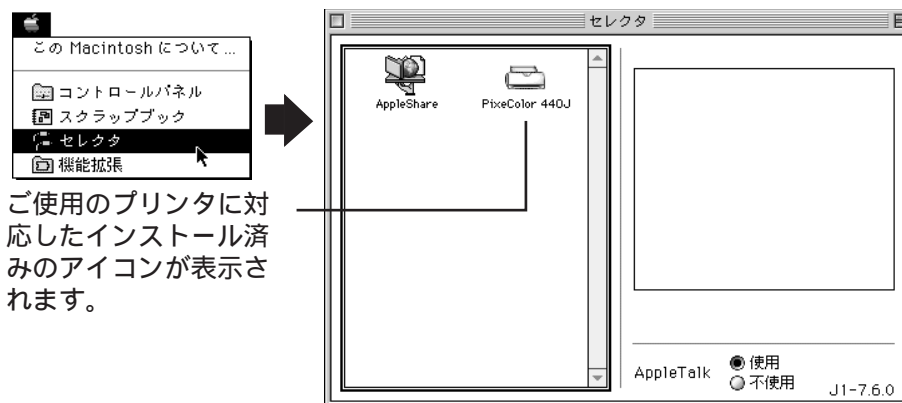
2-3. プリンタドライバの選択

プリンタドライバをインストールした後は、プリンタドライバの選択を行います。

選択の手順

1 アップルメニューから [セクタ] を選択します。

下図のセクタウィンドウが表示されます。



2 セクタウィンドウで PixeColor440J アイコンを選択します。

セクタウィンドウ左側に、PixeColor440J アイコンが表示されているはずです。アイコンをクリックして選択します。

セクタウィンドウにごPixeColor440Jアイコンが表示されていない場合は、インストールが正常に行われていません。前項の「ソフトウェアのインストール」をご覧の上インストールしてください。

3 出力先を選択します。

PixeColor440Jを選択すると、セクタウィンドウ右側に出力先のポートが表示されます。インターフェイスクーブル PixeCable H2 を接続したポートをクリックして選択します。

4 バックグラウンド印刷を設定します。

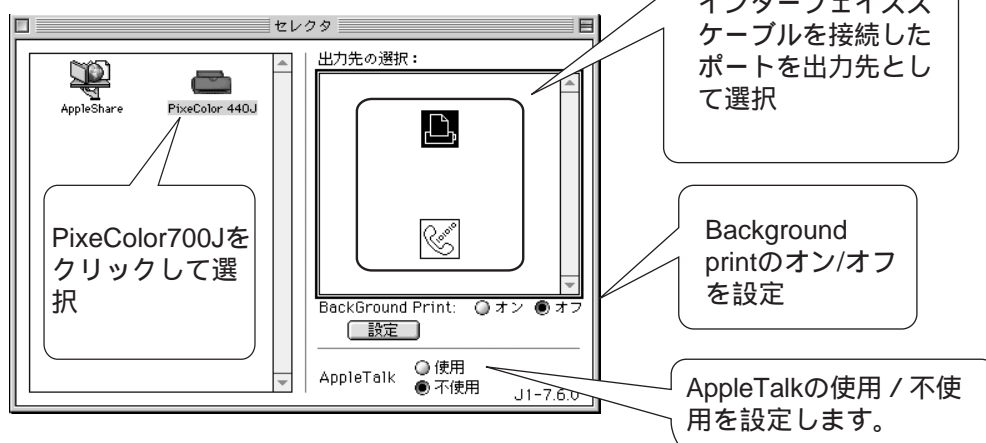
バックグラウンド印刷を行いたいときには、[Background print] のラジオボタンの『オン』をクリックします。

バックグラウンド印刷機能を使用するためには、QuickServer440Jがインストールされている必要があります。前項の「ソフトウェアのインストール」をご覧の上確認ください。バックグラウンド印刷の詳細については、第3章「3-6バックグラウンド印刷について」を参照ください。

5 [AppleTalk] を設定します。

Macintosh でネットワークを使用している場合で、接続しているネットワークの種類が LocalTalk の場合は、プリンタポートは使用できません。この場合は、[AppleTalk] を〔不使用〕にすることで LocalTalk ネットワークの接続を切り離し、プリンタポートを使用することができます。プリンタポートを使用しないネットワーク（EtherTalk など）を使用している場合は、[AppleTalk] を〔使用〕の状態でもプリンタポートを使用できます。

PixeColor440J選択時の設定項目



6 セレクトをクローズします。

ファイルメニューの[終了]を実行するか、クローズボックスをクリックしてセレクトウィンドウを閉じます。

以上でプリンタドライバの選択は完了です。これでBJC-440Jからの出力が可能になります。

第 3 章 印刷の設定

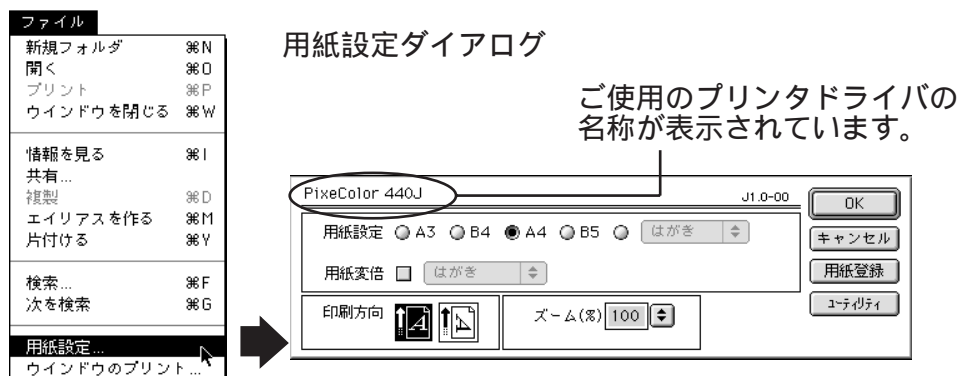
3-1. 用紙の設定

書類を作成するために用紙サイズ等の設定を行います。ほとんどの場合、設定した用紙サイズが作成する書類の用紙の大きさとして反映されます。

用紙設定の手順

1 [用紙設定] ダイアログを開きます。

ファイルメニューから [用紙設定] を選択します。
下図の [用紙設定] ダイアログが表示されます。



2 ダイアログの各項目を設定します。

3 『OK』 ボタンをクリックして設定を終了します。

設定項目

[用紙設定] ダイアログには下記の設定項目があります。各項目の内容について説明します。
メニューバーのガイドメニューにあるバルーン表示を有効にして、ダイアログでの操作中にバルーンヘルプで各項目の内容を確認することもできます。

サポートする用紙

A3、B4、A4 (デフォルト)、B5、はがき、はがき横、A5、A5 横、封筒長形 6、封筒長形 8、レター、リーガル

用紙サイズ

作成する書類の用紙サイズをポップアップメニューから選択します。

A/B系列用紙 A3、B4、A4、B5

ユーザー定義用紙 15種の登録用紙(8種類登録済み・下記図参照)

	用紙サイズ		余 白			
	縦mm	横mm	上	下	左	右
はがき	100	148	3	7	4	4
はがき横	148	100	3	7	4	4
A5	148	210	3	7	4	4
A5横	210	148	3	7	4	4
封筒長形6	229	162	3	7	4	4
封筒長形8	197	119	3	7	4	4
レター	216	279	3	7	6	6
リーガル	216	356	3	7	6	6

この内、はがき、はがき横の2種類は固定で削除できません。(変更は可能です。)

その他の用紙は削除して、別の用紙サイズを登録することが可能です。

設定する用紙サイズの単位はmmです。

余白のデフォルト値は上3mm、下13mm、左右は共に4mmです。

最小値は上3mm、下7mm、左右4mmです。この数値より小さい数値は自動的にデフォルト値に置き換えられます。

A4以上のサイズは、書類の用紙サイズとしては設定できませんが、印刷時の出力用紙としては使用できません。用紙変倍設定で出力用紙を指定する際、A4までの出力用紙サイズに縮小して出力することになります。

用紙変倍

「用紙サイズ」で選択した用紙をこのポップアップメニューで選択する用紙に縮尺して出力します。チェックボックスをチェックすると設定が有効になり、ポップアップメニューから出力用紙を選択できます。

サポートする用紙

はがき (デフォルト) A6、B6、A5、B5、A4

【例】

用紙サイズ A4

用紙変倍 はがき

上記の設定で、アプリケーションで用紙のサイズはA4で作成し、印刷時に葉書サイズに縮小してフィットさせて出力できます。

- ・用紙設定で A4、B4 が選択された場合は、自動的にチェックされ、その際の変倍用紙は A4 となります。その後、他の用紙に切り替えられた場合でも、チェック状態は自動的に解除されません。
- ・用紙変倍がチェックされた場合、ズーム機能は指定できません。

用紙方向

用紙の送り方向にたいして印刷の向きを指定します。縦・横のいずれかのイメージアイコンをクリックして選択します。



縦(ポートレート) 用紙の送り方向にたいして垂直に印刷します。

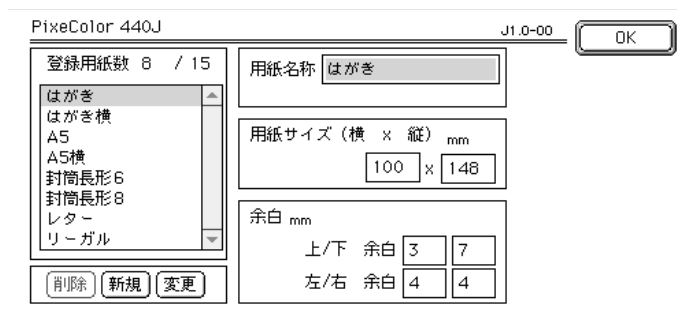


横(ランドスケープ) 用紙の送り方向にたいして90度回転して印刷します。

・反転表示されているものが、現在の選択項目です。

ズーム

印刷するときの縮小率 / 拡大率を指定します。20 ~ 400%まで1%刻みで設定できます。



ポップアップメニューから選択するか、テキストボックスに直接数値を入力します。

- ・用紙変倍がチェックされた場合、ズーム機能は指定できません。
- ・縮小率 / 拡大率を指定してカラー印刷を行った場合、色合いが変化することがあります。また、大きさに多少の誤差が生じる場合があります。

『OK』ボタン

変更した設定を有効にして設定を終了します。

『キャンセル』ボタン

変更した設定を無効にして設定を終了します。

「ユーティリティ」

プリンタのヘッドクリーニングやカートリッジ交換などのメンテナンスの操作を行います。また、自動電源オフの設定を行えます。使用しているプリンタによって操作できる内容は異なります。ボタンの内容については、バルーンヘルプで確認できます。



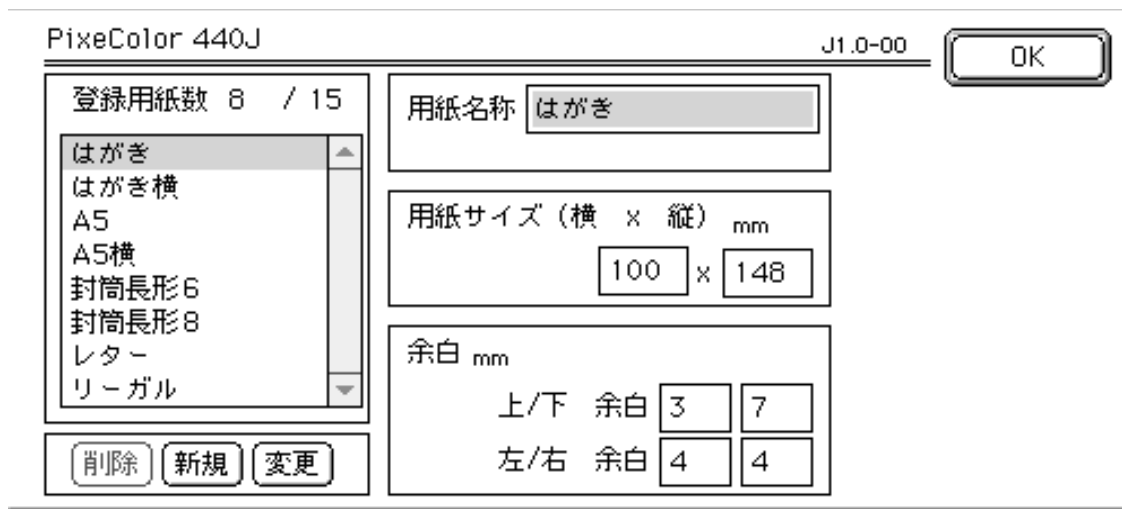
『用紙登録』ボタン

このボタンをクリックすると、ユーザー定義用紙の登録を行うダイアログが表示されます。

ユーザー定義用紙の登録については次項「ユーザー定義用紙の登録」をご覧ください。

ユーザー定義用紙の登録

用紙設定ダイアログの『用紙登録』ボタンをクリックすると、ユーザー定義用紙の登録ダイアログが表示されます。ここで、ユーザー定義用紙の登録を行います。



登録の手順

- 1 登録リストの下にある「新規」ボタンをクリックします。
リストに新規用紙が追加されます。
- 2 用紙名称テキストボックスに登録する用紙の名前を入力します。
- 3 用紙サイズテキストボックスに横と縦のサイズを数値で入力します。
登録できるサイズは最大でA3、最小で官製葉書サイズです。
必要であれば上下、左右の余白を余白テキストボックスに数値で入力します。
- 4 登録リストの下にある「変更」ボタンをクリックします。
設定した名前とサイズで用紙が登録されます。「変更」ボタンをクリックしないと設定は有効になりません。

登録リストから削除したい用紙をハイライトして、リスト下の「削除」ボタンをクリックすることで削除できます。「はがき」「レター」は削除できません。

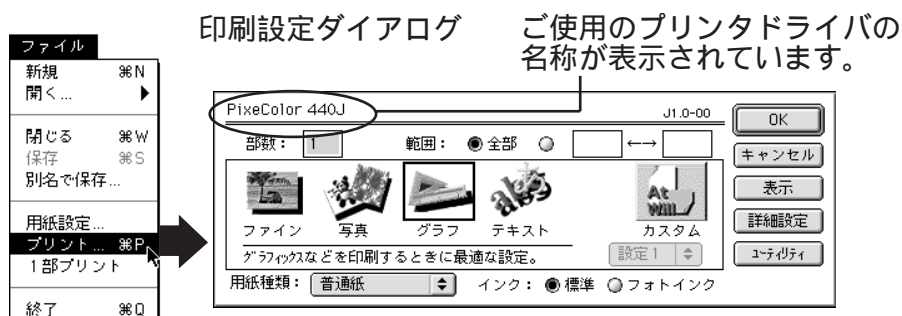
3-2. 印刷条件の設定

実際に印刷を行う前に、印刷するページ、部数などを設定します。

印刷の手順

1 [印刷設定] ダイアログを開きます。

ファイルメニューから [印刷] (または [プリント]) を選択します。
下図の [印刷設定] ダイアログが表示されます。



2 ダイアログの各項目を設定します。

3 『印刷』 ボタンをクリックして印刷を実行します。

設定項目

[印刷設定] ダイアログには下記の設定項目があります。ご使用のプリンタドライバで、一部設定項目が異なります。各項目の内容について説明します。

メニューバーのガイドメニューにあるバルーン表示を有効にして、ダイアログでの操作中にバルーンヘルプで各項目の内容を確認することもできます。

部数

印刷する部数を直接入力して指定します。1部～99部まで指定できます。

範囲

印刷するページを指定します。[全て]を指定すると、印刷する書類の全てのページを印刷します。ページを指定して印刷する場合は、右側のラジオボタンをクリックしてページ指定テキストボックスに初めのページと終わりのページを直接入力します。

アイコンボタン

アイコンボタンにより印刷する文書に適切な各種設定を選択することができます。これらのボタンをクリックすると、その指定に応じた適切な印刷オプションを自動的に設定します。

これらの設定はボタンがクリックされときのインクの指定に応じて適切な設定を行います。

〔スーパーフォト〕

自然画などを印刷するときに最適な設定です。

〔写真〕

写真などを印刷するときに最適な設定です。

〔グラフ〕

グラフィックスなどを印刷するときに最適な設定です。

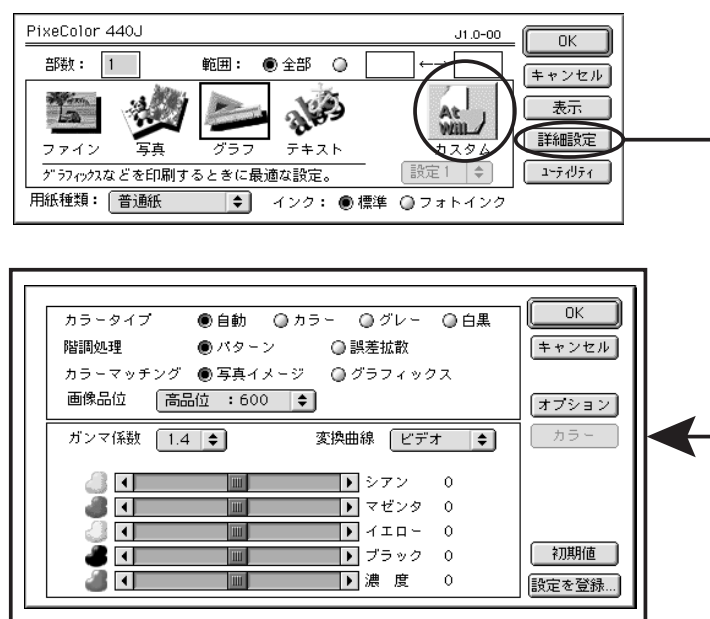
〔テキスト〕

一般文書を印刷するときに最適な設定です。

〔カスタム〕

任意の設定を登録して使用することができます。

登録を行うにはカスタムをクリックし、「詳細設定」ボタンをクリックして、カラーダイアログから「設定を登録...」ボタンをクリックして行います。詳細は3-3詳細設定をご覧ください。



インクシステム

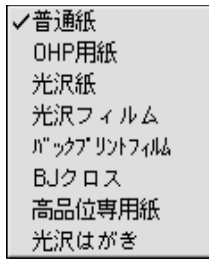
プリンタに装着されているインクカートリッジの種別を指定します。このラジオボタンの設定を変更すると、現在の設定情報も指定に合わせて更新されます。

標準:通常のカートリッジを使用する場合 BC-20(ブラック)、BC-21(カラー)

フォトインク:フォトカートリッジを使用する場合 BC-22eフォト

フォト印刷時に標準インクカートリッジが装着されている場合はエラーメッセージが表示されますが、標準印刷時にフォトカートリッジが装着されている場合はそのまま印刷が行われます。

用紙種類



使用する用紙の種類をポップアップメニューで選択します。

〔普通紙〕 LC-301

普通紙や官製はがきなどに印刷を行なう場合に選択すると、高品位な画質が得られます。

〔OHP用紙〕 CF-102

キヤノン社指定のOHPフィルムや市販のOHPフィルムに印刷を行なう場合に選択すると、高品位な画質が得られます。

〔光沢紙〕 GP-201 〔光沢フィルム〕 HG-101 〔光沢はがき〕 KH-101

キヤノン社指定の光沢紙、光沢フィルム、光沢はがきを使用する場合に選択します。写真など、精細な画像をよりきれいに印刷できます。

〔バックプリントフィルム〕 BF-102

キヤノン社指定のバックプリントフィルムに印刷を行なう場合に選択します。この用紙を選択した場合、表裏が反転した状態(鏡像)の印刷となりますので他の用紙種で印刷する際はご注意ください。

〔BJクロス〕 FS-101

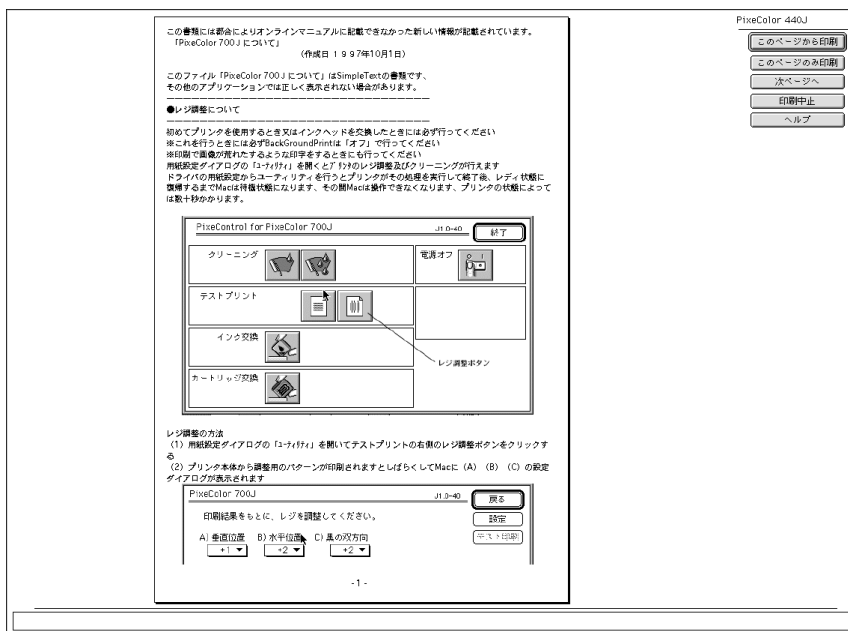
BJC-700専用の布シートに対応しています。

〔高品位専用紙〕 HR-101

インクシステムに「フォトインク」を選択した場合に自動的に選択されます。写真品質の最高画質が得られます。

『表示』ボタン

このボタンをクリックすると、印刷イメージの確認を行うためのプレビュー画面が表示されます。



画像品位

出力する画像品位、解像度のプリセットをポップアップメニューから選択します。をポップアップメニューから選択します。メニューの上部程高品位の出力となります。このポップアップメニューの内容はプリンタの出力モードに対応しています。

印刷設定ダイアログのインクの設定が標準印刷の場合

〔スーパーファイン / ファイン〕

高品位な印刷結果が得られます。写真やグラフィックスなどの印刷にお使いください。

〔標準(720dpi / 360dpi)〕

高度な印刷品質を要求しないときは、このモードで印刷します。高品位より、印刷速度が速くなる場合があります。

〔ドラフト〕

原稿のレイアウト確認や、通常の文書印刷など、あまり高度な印刷品質を必要としないようなときには、このモードで印刷します。印刷結果は薄くなりますがインクを節約できます。

解像度：dpiの値の高いほど精細な出力結果となります。

印刷設定ダイアログのインクの設定が標準印刷の場合

〔フォトファイン〕

高品位な印刷結果が得られます。印刷速度は遅くなります。

〔フォト〕

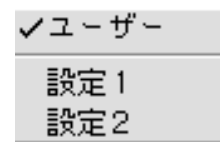
通常はこのモードで印刷します。印刷速度は速くなります。

画像品位と用紙種類との対応表（ ：対応 / - : 未対応）

	スーパー ファイン	ファイン	標 準 720	標 準 360	ドラフト	フォト	フォト ファイン
普通紙							-
OHP用紙	-		-	-	-		-
光沢紙			-	-	-		
光沢フィルム			-	-	-		
バックプリントフィルム	-		-	-	-		-
BJクロス	-		-	-	-	-	-
高品位専用紙				-	-		
光沢はがき			-	-	-		

「設定」ポップアップメニュー

任意の設定の登録を行った場合に設定済みの項目から希望する設定を選択します。既存値の項目のうち一つでも変更されるとメニュー項目が「ユーザー」と言う表記に変わり、変更が行われた事を表します。一度でも「ユーザー」表記になった後は、設定を戻しても表記は「ユーザー」のままになります。



『OK』『キャンセル』ボタン

『OK』ボタンをクリックすると印刷を開始します。『キャンセル』ボタンをクリックすると印刷の設定をキャンセルして、ダイアログを閉じます。

「詳細設定」

印刷設定ダイアログの『詳細設定』ボタンをクリックするとカラー補正ダイアログが開きます。印刷設定ダイアログで指定された現在の設定情報の各項目を変更することができます。次項3-3詳細設定をご覧ください。

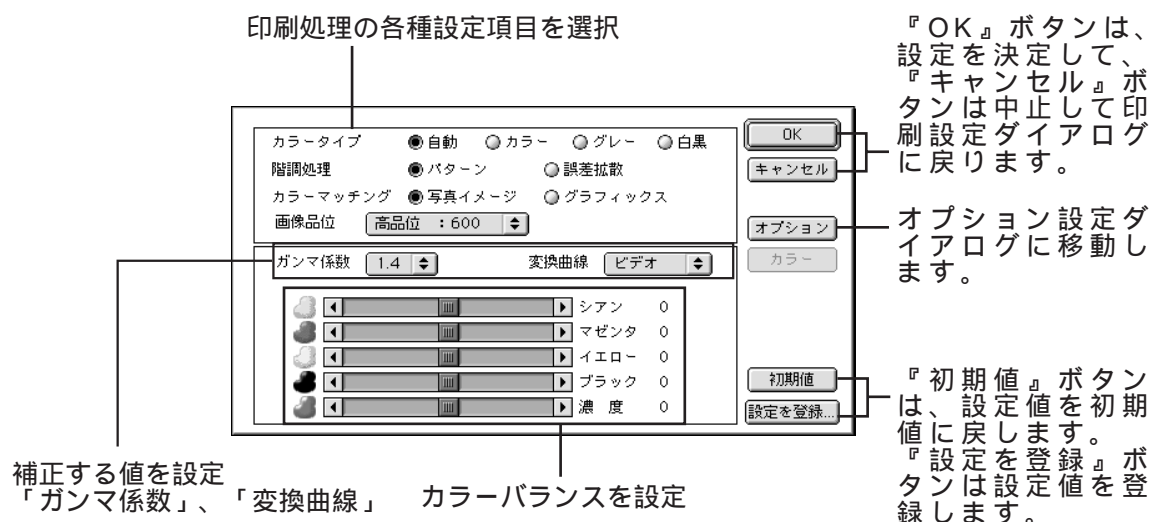
「ユーティリティ」

プリンタのヘッドクリーニングやカートリッジ交換などのメンテナンスの操作を行います。また、自動電源オフの設定を行えます。使用しているプリンタによって操作できる内容は異なります。ボタンの内容については、バルーンヘルプで確認できます。



3-3. 詳細設定

[印刷設定]ダイアログの『詳細設定』ボタンをクリックするとカラー補正ダイアログが開きます。印刷設定ダイアログで指定された現在の設定情報の各項目を変更することができます。原データもしくはモニタ上の画像に出来るかぎり近い明るさと色を再現するために、使用しているプリンタの特性を考慮して色補正処理を行います。



設定項目

〔カラータイプ〕

印刷時のカラーを指定します。

自動 / カラー / グレー / 白黒の4項目です。

画像品位と用紙種類との対応表（：対応 / -：未対応）

	高品位 1200	高品位 600	標準 600	標準 300	ドラフト	フォト	フォト ファイン
カラー							
グレー							
白 黒	-					-	-

階調処理

ラジオボタンでハーフトーン処理の方法を選択します。

〔パターン〕 パターンによる256階調ディザです。イラストやグラフなどの印刷に適しています。

〔誤差拡散〕 誤差拡散技法による印刷で自然画や油絵調の再現に適しています。

フォト印刷時は誤差拡散のみ、画像品位がドラフトの場合はパターンのみとなります。

カラーマッチング

ラジオボタンでカラー補正の技法を選択します。

〔写真イメージ〕 自然画や写真画像の再現に適しています。

〔グラフィックス〕 ドロー系アプリケーションで作成したグラフィックの印刷に適しています。

フォト印刷時は写真イメージのみとなります。

ガンマ係数

このポップアップメニューはモニタの発色特性を補正するためのガンマ係数を指定します。

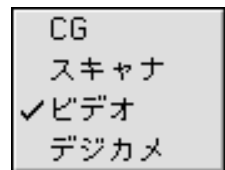
通常は1.4を使用しますが、印刷されたものが原データより明るい場合は、1.4 1.8 2.2と順番に試してみて、最も適したものを選んで下さい。



ガンマ係数の値が大きいほど、印刷される色は濃くなります。

変換曲線

マッキントッシュ内部で使用されるRGBデータをBJC-440Jで使用されるYMCKデータに変換する際に、変換曲線を指定することが出来ます。



〔CG〕 ドロー系のアプリケーションでの使用に適したモードです。

〔デジカメ〕 デジタルカメラで取り込んだイメージを印刷するためのモードです。このモードではオリジナル原稿に近くなるように補正されますが、モニタ上に表示された色とは若干異なります。

〔スキャナ〕 スキャナで取り込んだイメージを印刷するためのモードです。このモードではオリジナル原稿に近くなるように補正されますが、モニタ上に表示された色とは若干異なります。

〔ビデオ〕 モニタ上に表示されている画像を印刷するモードです。

カラーバランス

シアン、マゼンタ、イエロー、ブラックの各色を独立して調整することが出来ます。各色ともに設定値を大きくするほど強くなり、小さくするほど弱くなります。

カラータイプがグレーの場合及び画像品位がフォトファインの場合は濃度のみとなります。

濃度

印刷時の濃度を調整することが出来ます。設定値を大きくするほど濃くなり、小さくするほど薄くなります。

一般的に補正値は原データの構成(スキャン時の補正値など)印刷する用紙(専用

コート紙、普通紙など、使用するアプリケーション、ご使用になっているモニタの発色傾向などにより左右されますのでご注意ください。

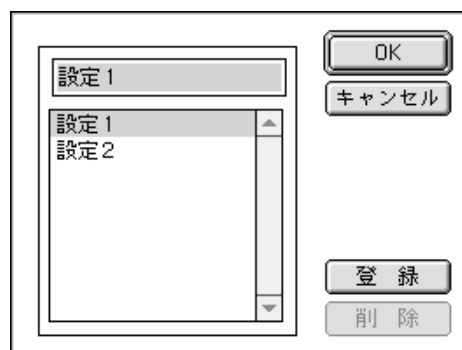
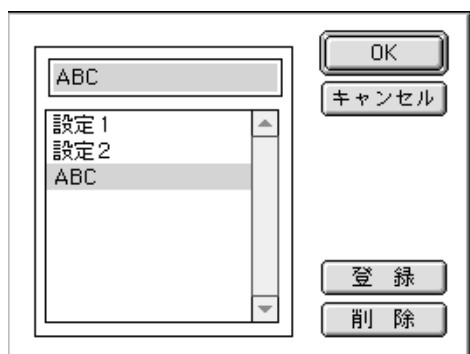
『OK』『キャンセル』ボタン

『OK』ボタンをクリックすると現在の設定情報を更新します。『キャンセル』ボタンは現在の設定情報を更新しません。

設定の保存と初期化

「設定の登録...」をクリックすると設定登録ダイアログが表示されます。このダイアログでは現在の設定を登録・保存することも可能です。登録可能な最大数は10個までです。

「設定の登録...」をクリックすると、登録ダイアログが表示されます。リストボックスには現在登録済みの項目が表示されます。

新規に登録する場合は、最上部のフィールドに名称を入力し「登録」ボタンをクリックすると、リストに追加されます。名称としては半角文字で10文字まで指定できます。これらのリストは印刷設定ダイアログのカスタム設定のメニューに表示されます。

項目を削除する場合は、リスト中の項目を選択し「削除」ボタンをクリックします。

「設定1」と「設定2」は削除できません。

初期値ボタンをクリックすると、現在の選択されている項目をデフォルト値に戻します。

デフォルト値

インクで「フォト」を選択した場合

	テキスト	グラフ	写真	スーパーフォト	カスタム
カラータイプ	カラー	カラー	カラー	カラー	カラー
印刷品位	フォト	フォト	フォト	フォトファイン	フォト
用紙種類	普通紙	普通紙	高品位専用紙	高品位専用紙	高品位専用紙
階調処理	誤差	誤差	誤差	誤差	誤差
カラーマッチング写真	写真	写真	写真	写真	写真
ガンマ係数	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4
変換曲線	ビデオ	ビデオ	ビデオ	ビデオ	ビデオ

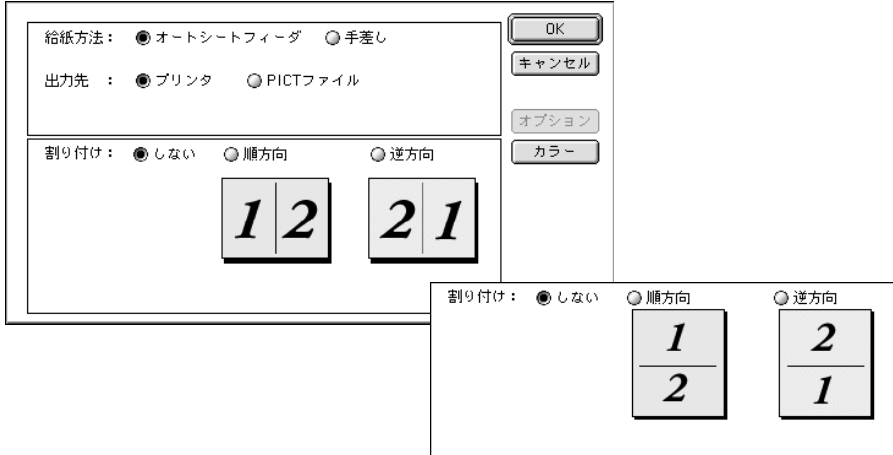
インクで「標準」を選択した場合

	テキスト	グラフ	写真	スーパーフォト	カスタム
カラータイプ	自動	自動	カラー	-	カラー
印刷品位	標準600	高品位600	高品位600	-	標準300
用紙種類	普通紙	高品位専用紙	高品位専用紙	-	普通紙
階調処理	誤差	パターン	誤差	-	誤差
カラーマッチング写真	写真	グラフィックス	写真	-	写真
ガンマ係数	1.4	1.4	1.4	-	1.4
変換曲線	ビデオ	ビデオ	ビデオ	-	ビデオ

『オプション』ボタン

カラー設定ダイアログで「オプション...」ボタンをクリックすると、オプション設定ダイアログが表示されます。

用紙設定でポートレートが選択されている場合



用紙設定でランドスケープが選択されている場合

給紙方法

オートシートフィーダ / 手差しが選択できます。

手差しを選択した場合、印刷時に1ページ毎に用紙セットを促すためにダイアログが表示されます。

出力先

プリンタ / PICTファイルが選択できます。

PICTファイルを指定した場合、印刷開始時に保存場所を指定します。

保存ボタンをクリックすると印刷範囲の全てのページが、1ページずつ1つのファイルとして保存されます。

割付の方向の順方向や逆方向を選択するとPICTファイルは選択解除されます。

この時、割付を「しない」に戻しても出力先の状態は戻りません。

割り付け

1枚の用紙に2ページ分の印刷イメージをレイアウトします。

選択項目： しない / 順方向 / 逆方向

割り付け指定時はPICT保存は選択できなくなります。



3-4. バックグラウンド印刷について

印刷時にバックグラウンドアプリケーションQuickServerを使用し、印刷作業をバックグラウンドで行うことができます。

バックグラウンド印刷の手順

- 1 セレクタでプリンタドライバを選択し、[Background print]のラジオボタンを『On』にします。
- 2 ファイルメニューから、[印刷 (またはプリント)] を選択します。
- 3 印刷設定ダイアログで必要な設定を行い、『印刷』ボタンをクリックして印刷を実行します。
印刷を実行すると、QuickServerに印刷データを転送するグラフが表示されデータの転送を行います。

ドライバ選択、印刷ダイアログでの設定項目については、第2章「2-4. プリンタドライバの選択」、「3-2. 印刷条件の設定」を参照してください。

- 4 QuickServerに印刷データが転送され、印刷データを処理しながらプリンタへ出力されます。
QuickServerが起動していない場合は自動的に起動し、転送された印刷データを受取り、BJプリンタに出力されます。

バックグラウンドアプリケーション QuickServer の役割

QuickServerは、書類を印刷する順番を管理します。

アプリケーションから印刷を実行すると、印刷データをスプールファイルとしてQuickServerに転送します。これで印刷データを転送したアプリケーションは印刷処理から速く開放されます。QuickServerは、この転送されたファイルを一時的に保持し、転送された順に印刷データをBJプリンタに出力します。BJプリンタへの出力作業は、QuickServerがバックグラウンドで独自に行います。

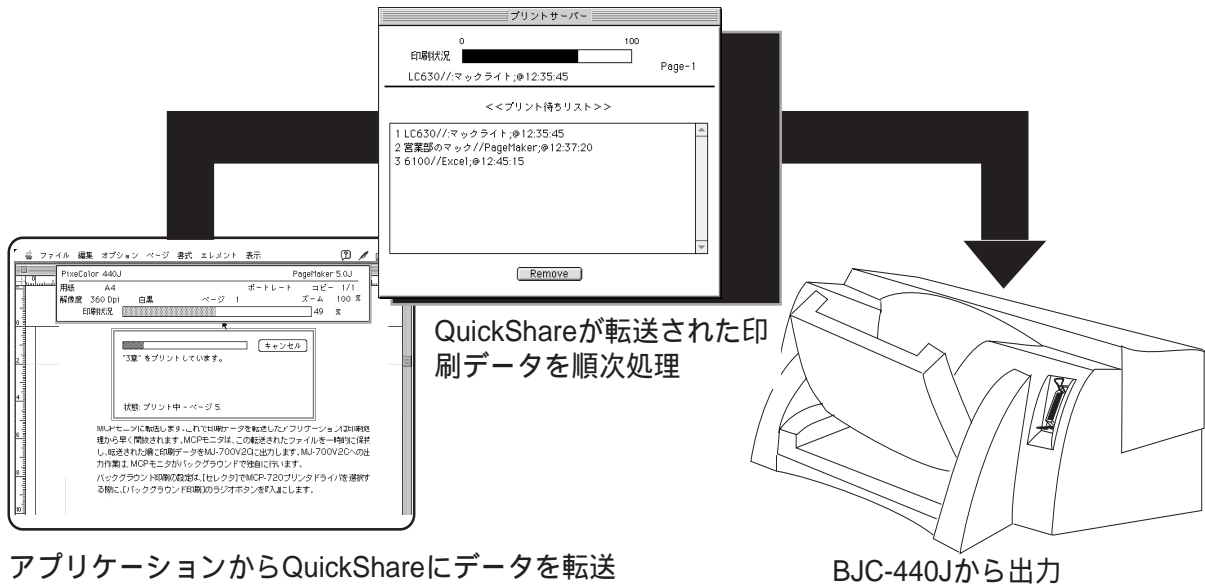
バックグラウンド印刷の設定

バックグラウンド印刷の設定は、[セレクタ]でプリンタドライバを選択する際に、[Background print]のラジオボタンを『On』にします。

[Background print]を『On』にしてアプリケーションから印刷を実行すると、QuickServerが起動していない場合は、自動的に起動しデータを受け取ります。

バックグラウンド印刷は、印刷を行いながら Macintosh で他の処理ができるという利点がありますが、ご使用の環境によっては印刷時間や作業する処理速度が遅くなる場合があります。必要に応じて通常印刷と使い分けてください。

QuickServer が Macintosh のハードディスクに存在しなかったり、起動ディスクに複数存在する場合は印刷を実行できません。適当なアラートが表示されます。



アプリケーションから QuickShare にデータを転送

BJC-440J から出力

QuickServer の機能

QuickServer のウィンドウでは、転送された印刷データを確認したり、不要な転送データを削除、あるいは印刷の中止などが行えます。モニタウィンドウの各項目について説明します。

QuickServer シェアウィンドウ 転送データリストウィンドウ

アプリケーションから転送された印刷データのリストが表示されます。リストのいちばん上が現在印刷処理を実行中のデータです。

その他のデータは、印刷処理を待っている状態です。

『削除』ボタン

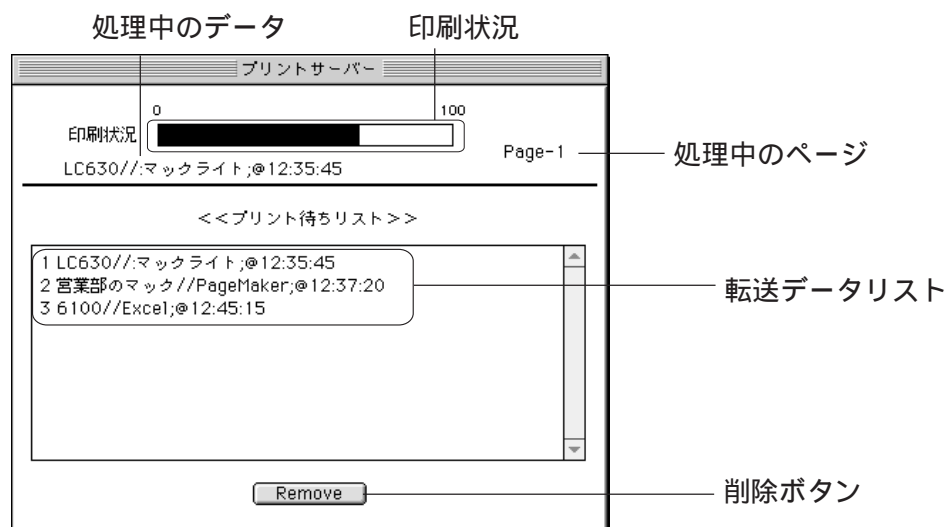
転送データリストウィンドウの転送データ名をクリックすると、反転されそのデータが選択されます。この状態で『削除』ボタンをクリックすると、選択されたデータが削除されます。現在処理中のデータを削除すると、印刷処理を中止できます。

印刷状況

処理中の状況を処理中のデータのページ単位でグラフ表示します。処理中のデータは、プリント待ちリストの最上行のデータです。

処理中のページ

現在処理中の印刷データの処理しているページを表示します。



処理中のデータ

転送されたデータの現在処理中のデータ名が表示されます。

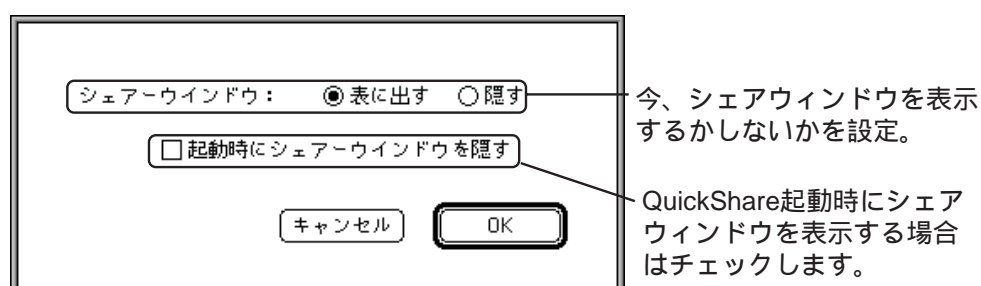
シェアウィンドウの表示設定

Macintoshのモニタ上にQuickServerのシェアウィンドウを表示するかしないかを設定できます。

オプションメニューから[表示]を選択します。

下図の設定ダイアログが表示されます。

QuickServer起動時にモニタウィンドウを表示しないように設定することもできます。



第4章 ネットワークでのプリンタ共有

LocalTalk / EtherTalkのネットワーク上の複数のMacintoshからプリンタを共有するクライアント / サーバー方式のソフトウェアがQuickServerです。クライアント機からサーバー機への印刷データの転送により、印刷処理から素早く解放され、他の作業を継続することができます。

4-1. サーバー機とクライアント機について

QuickServerは、ネットワーク上の複数のMacintoshでプリンタを共有するためのシステムです。共有するためには、ネットワーク上のMacintoshをサーバー機とクライアント機の関係で運用することが必要です。

サーバー機

ネットワーク上に複数接続されているMacintoshのうち、プリンタをインターフェースケーブルPixeCable H2で接続したMacintoshをサーバー機とします。複数のプリンタがある場合は、それぞれ接続してあるMacintoshをサーバー機として運用できます。運用形態としては、サーバー機として設定されたMacintosh上で起動しているQuickServerに、ネットワーク上の他のMacintoshからプリントデータが転送され、接続されたプリンタから出力されます。

QuickServerは、バックグラウンドで動作するため、転送されたデータの出力処理を行っている場合でもサーバー機で他の作業の継続が可能です。

クライアント機

Wonder BJプリンタに対応したプリンタドライバをインストールしたネットワーク上のMacintoshがクライアント機となります。

サーバー機として設定したMacintoshで、QuickServerが起動していれば、そのMacintoshにプリントデータを転送できます。

ネットワーク上にQuickServerが起動しているMacintoshが複数あれば転送先を任意に指定して転送できます。

4-2. 機器の接続

サーバー機とプリンタの接続

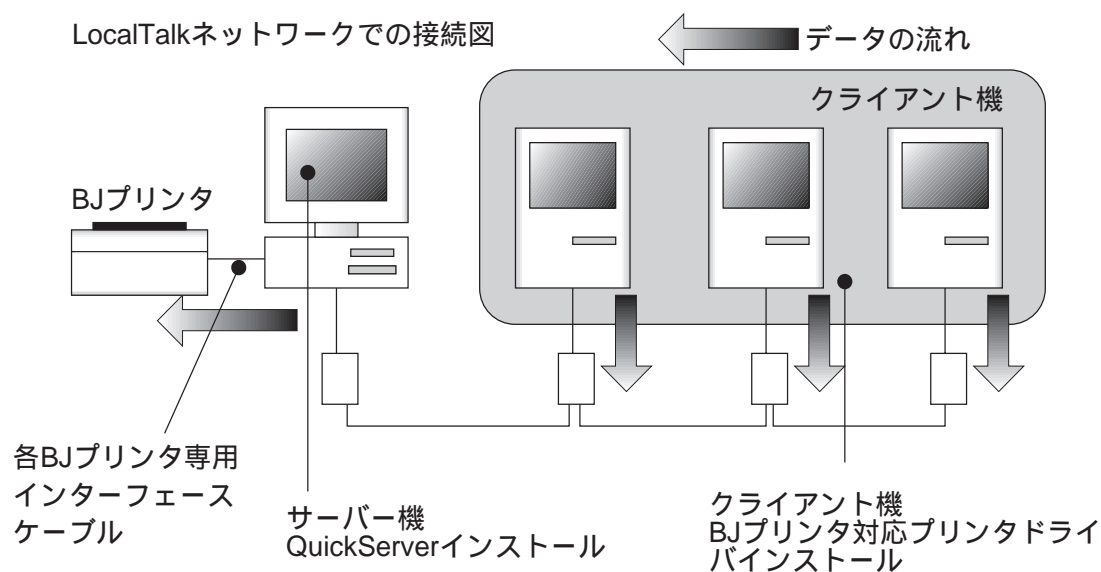
Macintoshのシリアルポートとプリンタの平行ポートをインターフェースケーブルPixeCable H2で接続します。

接続についてはQuickServerを使用しない場合と同じです。第2章の「2-1.インターフェースケーブルの接続」の項をご参照のうえ、プリンタの接続を行なってください。

サーバー機がLocalTalkネットワークで接続されている場合は、プリンタポートは使用できません。第2章「2-2.機器の設定-Macintoshへの接続について」を参照してください。

クライアント機とサーバー機の接続

LocalTalk / EtherTalkネットワークで接続します。



ネットワークの接続については、Macintoshのマニュアル等をご参照ください。

4-3. セットアップ

BJプリンタの共有を行うために、サーバー機で設定を行う必要があります。

QuickServer のインストール

サーバー機にQuickServerをインストールします。

インストールについては、第2章「2-2.ソフトウェアのインストール」を参照の上、QuickServerプリントサーバをインストールしてください。

QuickServer のメモリサイズを変更する

QuickServerは、使用メモリを1500Kに設定してあります。ネットワーク上のプリントサーバーとして使用する場合は、4000K程度を確保することを推奨します。これは、ネットワーク上のクライアント機から、フルカラーのデータが送られた場合などでメモリ不足のため印刷できないという状況を避けるためです。サーバー機に接続されているBJプリンタから白紙が排出されたり、QuickServerが正常に動作しない場合は、更にメモリを増やす必要もあります。

使用メモリの変更方法

1 QuickServer のアイコンを選択します。

起動ディスクにQuickServerという名前のフォルダがあります。この中に下図のQuickServerのアイコンがあります。このアイコンをクリックして選択します。



QuickServer

BJC-440J用のQuickServer

2 ファイルメニューから「情報を見る」を選択します。

QuickServer の情報ダイアログが表示されます。

ダイアログの右下にメモリ必要条件の設定ブロックがあります。

3 使用サイズのテキストボックスに「4000」と入力します。

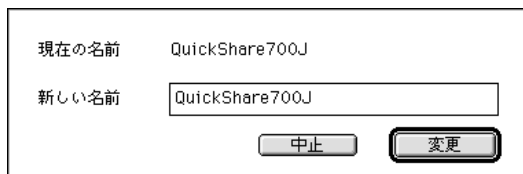
メモリ必要条件		
推奨サイズ:	1500	K
最小サイズ:	<input type="text" value="1000"/>	K
使用サイズ:	<input type="text" value="4000"/>	K

4 情報ウィンドウをクローズします。

以上の操作で QuickServer のメモリ使用サイズが変更されます。

サーバー名の変更

オプションメニューで「サーバー名の変更 ...」を選択します。



QuickServerの名前を変更します。ネットワーク上に複数のサーバー機を設定し、QuickServerが複数起動している場合にそれぞれに固有の名前を付けることで識別できます。

新しい名前のテキストボックスに変更したい名前を入力して変更ボタンをクリックします。変更は、QuickServerの再起動後有効になります。

プリンタ共有の手順

1 サーバー機の QuickServer を起動します。

BJ プリンタを接続している Macintosh がサーバー機です。サーバー機にインストールされている QuickServer をダブルクリックで起動します。

シェアウィンドウが表示されます。

シェアウィンドウの内容については、「3-4 バックグラウンド印刷について - QuickServer の機能」を参照ください。

2 クライアント機のセレクトアでご使用のプリンタ用のプリンタドライバを選択します。

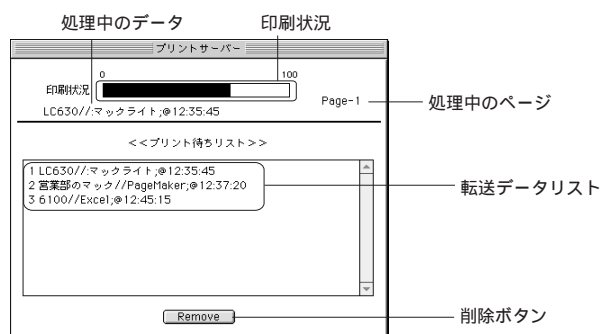
ネットワーク上のプリンタドライバをインストールしてある Macintosh がクライアント機になります。

3 クライアント機のセレクトアで出力先の選択を行います。

サーバー機でインターフェイスケーブルを接続したポートを、クライアント機のセレクトアでも選択します。

サーバー機とクライアント機で出力先(ポート)の選択が異なっていると、クライアント機から正常に印刷できません。

4 インターフェイスを QuickServer に設定します。



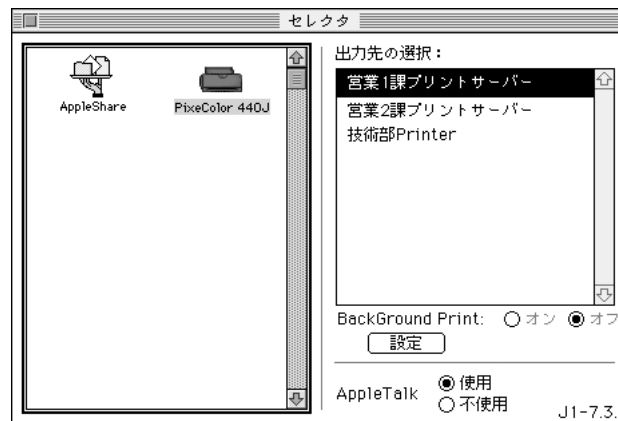
プリンタドライバを選択すると、セレクトウインドウに『設定』ボタンが表示されます。そのボタンをクリックし、ドライバ設定ダイアログを表示します。印刷方法を「ダイレクト印刷」から「QuickServer」に変更します。
設定ボタンをクリックして初期設定ダイアログをクローズします。

5 ネットワーク上の QuickServer を出力先に設定します。

ネットワーク上の QuickServer を検索し、選択ウインドウに表示されます。出力先をクリックして設定します。

ここで表示されるのは、サーバー機で起動してある QuickServer です。サーバー機に QuickServer をインストール済みでも起動していなければ表示されません。

ネットワーク上で複数の QuickServer が起動していればそのリストが表示されます。出力したいサーバー名をクリックして選択します。



複数のサーバー機を設定する場合は、それぞれのサーバー機で起動させる QuickServer のサーバー名を変更し識別できる名前を付けておくことを推奨します。名前の変更は、「サーバー名の変更」を参照ください。

6 セレクトをクローズして設定を完了します。

4-4. プリントデータの転送

実際にネットワークを利用しての印刷を行なってみましょう。

操作は、通常印刷の方法と基本的には同じです。

転送の手順

1 用紙設定を行ない、印刷メニューを選択します。

印刷設定のダイアログが表示されます。

バックグラウンド印刷の場合は現在作業中の Macintosh 上で起動している QuickServer にデータを送ることでバックグラウンドでの印刷処理を行ないますが、QuickServer の場合は、ネットワーク上の Macintosh (BJ プリンタの接続された) で起動している QuickServer にデータを転送することになります。

4 『OK』 ボタンをクリックして印刷を実行します。

必要な印刷の設定を行い印刷を実行します。

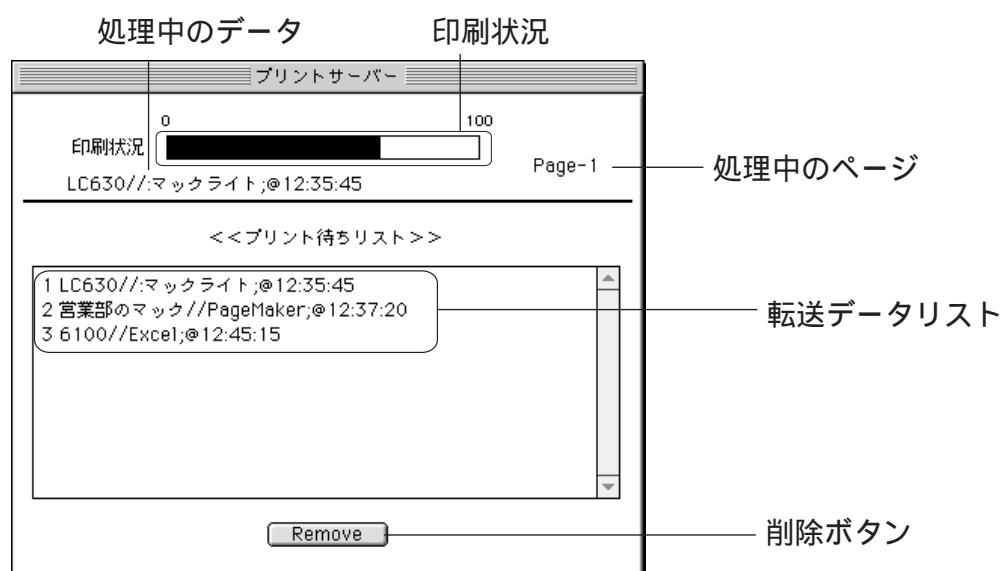
印刷データ転送中のグラフが表示されます。転送が終了すると、アプリケーションでの印刷処理は完了です。

転送の中断

コマンドキーを押しながらピリオドキーを押します。中断した時点までのデータは、サーバー機の QuickServer に送られます。アプリケーションによっては、独自の方法で中断処理を行なうものや、中断を受け付けられないものがありますので、アプリケーションのマニュアルをご参照ください。

サーバー機の QuickServer に印刷データが転送され、サーバー機に接続してある BJ プリンタから出力されます。

QuickServer シェアウィンドウ



第 6 章 トラブルが発生したら

プリンタドライバ、QuickServerを使用して、正常に印刷できないときに参照してください。プリンタ本体のトラブルについては、各プリンタの取り扱い説明書をご覧ください。

セレクトでプリンタドライバが選択できない

原因	対処
起動用ディスクのシステムフォルダ内の機能拡張フォルダにプリンタドライバがインストールされていない。	コントロールパネルの「起動ディスク」書類で指定してあるディスクが起動ディスクとなります。このディスクにインストールします。
QuickDraw GXをインストールしている。	QuickDraw GXが有効になっているとセレクトにプリンタドライバが表示されません。

印刷結果が不良

原因	対処
アウトラインフォントデータがMacintoshにインストールされていないため、文字がギザギザになる。	漢字Talk7/7.5標準搭載フォントを使用時は、書体で「細明朝」か「中ゴシック体」を指定していると、ギザギザに印刷されます。「リュウミンライト」か「中ゴシック BBB」を指定します。
カラー出力を指定しているのに、モノクロで出力されたり、白紙が排出される。印刷を実行するとメモリ不足のエラーが出たり、白紙が排出される、出力時間が非常にかかる、アプリケーションエラーで終了してしまう、などの不安定な症状が出る。	アプリケーションメモリを増やしてみます。メモリ使用サイズの変更は、下記のように行います。 ・アプリケーションを終了し、プログラムアイコンをクリックし選択する。 ・ファイルメニューから「情報を見る」を選択。 ・表示される情報ダイアログのメモリ必要条件の使用サイズを変更する。
インクの出方が悪い/ヘッドの動きの異常などの可能性がある。	プリンタのテスト印刷を行い、印刷結果が正常かどうかを確認する。



プリンタが印刷しない

原因	対処
プリンタがオフラインか、電源が入っていない。	プリンタの状態を確認し、印刷できる状態にしてください。
インターフェースケーブルがはずれている	専用インターフェースケーブルの接続を確認してください。
インターフェースケーブルを接続したシリアルポートをセクタで指定していない。	プリンタドライバをセクタで選択する際にインターフェースケーブルを選択したポートを選択してください。
プリンタドライバが選択されていない。	セクタでドライバを選択し直してください。
ケーブルの接続が完全でないために通信エラーが起きた。	ケーブルの接続を確認してください。正常に接続されているように見えても、一度接続をやり直してください。
Macintoshの起動時にシリアルポートから余分な信号がプリンタに送られた。「シリアルプロトコルエラー」が表示されたり、印刷が完了しなかったりする。	すべての機器の電源を落とし、ケーブルの接続をやり直してください。まずMacintoshの電源を投入し、完全に起動し終わってからプリンタの電源を投入してください。
シリアルポートがなんらかの理由で開放されていないために、「シリアルオープンエラー」となり印刷データをプリンタに送れない。	Macintoshで設定を行う必要があります。シリアルポートを占有している原因(機能拡張、コントロールパネル)を取り除いてください。

バックグラウンド印刷ができない

原因	対処
QuickServer がインストールされていない。	バックグラウンドアプリケーションのインストールは??を参照ください。
セクタでバックグラウンド印刷設定を『オン』に設定していない。	セクタでBackGround printのラジオボタンを『オン』に設定してください。
複数の QuickServer がハードディスク上に存在する。	ディスク内から不要な QuickServer-を削除してください。
QuickServer のメモリが不足している。	QuickServer のアプリケーションメモリを増やしてください。

プリンタ共有でQuickServerが見つからない

原因	対処
サーバー機でQuickServerが起動していない。	プリンタが接続されたサーバー機のQuickServerを起動してください。 QuickServerがサーバー機にインストールされている必要があります。

印刷速度が遅い

原因	対処
複数の書体を使用した書類を印刷している。	フォントデータを作成する時間がかかります。TrueTypeフォントを使用の場合、コントロールパネルのフォントキャッシュ設定をオンにし2～3MB程度の容量を設定してください。
高解像度のデータを印刷している。	自然画像のデータは、必要以上に高い解像度のデータを作成する必要がありません。180dpi以上の解像度で作成してもほとんど出力結果に違いはでません。できるだけ低解像度で作成するほうが高速に出力できます。



PixeColor 440J

ユーザサポートについて

商品の製造出荷に関しては万全を期しておりますが、万一のトラブルの場合は下記のピクセラユーザサポート部までご連絡下さい。サポートは、登録ユーザー様にのみ対応させていただきます。登録をお済みでないユーザー様は、製品添付の登録葉書に必要次項を記入の上、至急送付ください。

お問い合わせの際には、このページをコピーして頂いて以下の項目にご記入の上、あらかじめファクシミリで送って頂きます様、お願いいたします。

お問い合わせ用紙 FAX 0722-24-7177

貴社名 ご担当部署 / ご担当者
貴社電話番号 内線
ファクシミリ番号

ソフトウェア製品名 PixeColor440J シリアル番号
バージョン
コンピュータ 機種 名称
システムのバージョン 漢字Talk() System()
内蔵のRAM容量 MB ハードディスクの総容量と空き容量 / MB
使用中のINIT/cdev/Extensionの名称とそのバージョン

問題点の具体的な状況

ご質問の内容によっては解答までにお時間を頂戴する場合がございます。

あらかじめご了承下さい。

尚、弊社ではご使用のコンピュータについての基本的な操作方法、アプリケーションの仕様やその動作に関する事項などについては、一切お答えできません。

株式会社 ピクセラ ユーザサポート部

〒590-0985 大阪府堺市戎島町4丁45番地の1ポルトス・センタービル

TEL0722-24-7311 FAX0722-24-7177

受け付け時間は平日10:00～13:00、14:00～17:00で土曜日、日曜日、祝祭日を除きます。